



長尾 義信

職員の窓口対応について

問 窓口での接遇は、職員と町民の皆様との信頼関係を築く第一歩である。行政サービスのひとつである誠意ある対応、親切丁寧な説明など、こちらのこもった対応が求められているが、行政のトップとしての思いと考えを問う。

答 見える形の行政サービスである認識のもと、誠実な窓口対応に努めている。今後とも誠心誠意、親切でスピーディーな対応を心がけるよう、機会があることに指導していく。

要望

来庁者と対面式の機の配置を考えられないか。

笑顔あふれるまちづくりの実現を!!



児童・生徒の登下校時の見守りについて

問 今までの通学方法や通学路が変わることで、いっそう児童・生徒の登下校時の安全な見守り体制を強化する必要があると思うが、子どもたちを事故、事件から守るための対策を問う。



答 ボランテア、保護者、警察等の協力を得て徒歩・自転車通学の要所、バス停での見守り活動を展開していただいている。今後は、保護者をはじめ住民の皆さんと情報共有し、課題等を出し合う中で、感謝と協力の機運を町内に広め、更なる地域安全と見守り体制の向上につなげていきたい。

一般質問



原田 健志

災害対策

問 これまで災害発生時に情報発信をする際、意図が十分に伝わっていないところではないか。また、避難に関し、伝えるべきこと、行動していただきたいことを用語も少しかみ砕いて発信すべきでは。

答 行政が要求していることも事前にわかっているだけという、担当課とも十分相談し、その部分については工夫する。

問 自主防災組織の運用に関して町の働きかけをさらに加速すべきでは。

答 既に先般の定例の区長会でも、自主防災組織の立ち上げについて説明をした。

今年度からおくれればせながらそういった部分にも力点を置き、自主防災の強化を図る。

一、災害対策

二、教育とまちづくり

(すきなまち能勢を、すてきなまち能勢にするために)

問 教育とまちづくり(すきなまち能勢を、すてきなまち能勢にするために)

問 新しい世代を見すえ、子どもたちが能勢町を好きであること、自尊心をもつこと、自分たちの町を知っていくこと、だけにとどまらない次の一歩というものを考え、教育をしていくべきである。

答 子どもたちにとって自分たちの能勢ささゆり学園がすてきな学校になるように、子どもたちは子どもたちでやはり頑張るところは頑張っていただきたいと思っている。そういうふうになるように、周りも子どもたちを支援してまいりたいと思う。どうか今後ともご支援をよろしくお願いしたい。

	風水害における避難勧告の意味合い	発令時の状況	住民に求める行動
避難準備情報	住民に対して避難準備を呼びかけるもの	大雨警報(土砂災害)が発表 土砂災害警戒準備情報が発表	家族等の連絡、非常持出品の用意等、避難準備の開始
避難勧告	災害によって被害が予想される地域の住民に対して、避難を勧めるもの	土砂災害警戒情報が発表	指定された避難所等への避難を開始
避難指示	住民に対し、避難勧告よりも強く避難を求めるもの	土砂災害警戒情報における「現況雨量が「土砂災害発生警戒基準線」を超過した場合	避難していない対象住民は、直ちに避難行動をとる